

2024年

豊山会 山行

2024 年 1 月 23 日作成

実施日 4月 11日(木)

場所 雁ヶ腹摺山(標高 1874m) 初級

距離・時間 約3キロ 約2時間(姥子山までは全長 7Km 4 時間 30 分)

標高差 310m(姥子山は+411m)

集合場所 練馬文化センター

出発5分まで集合

練馬文化センター7時15分～環七～永福 IC～中央道大月 IC～国道 510 号線～(75 分)～大峠
駐車場10時頃 (101Km、2時間30分) ※帰りに猿橋を見学して練馬文化センターへ

コース案内

大峠駐車場 1564m ～ (70 分)～ 雁ヶ腹摺山 1874m ～ (60 分)～大峠(駐車場)～猿橋見学
(頑張れば姥子山 1503m 往復もできるが、+2 時間 40 分かかるので今回はなし)



大峠駐車場



雁ヶ腹摺山と名の付く山は、笹子雁ヶ腹摺山、奥牛ノ雁ヶ腹摺山とありますが、こちらは何も付かない山梨百名山の“雁ヶ腹摺山”で、山頂は旧500円札の富士山が名取久作によって撮影された場所です。大菩薩嶺から続く小金沢連峰の支脈にある山の一つ。小金沢連峰と当山

との鞍部である大峠は、渡り鳥であるガンがその腹をこするようにしてここを越えていったことから、雁ヶ腹摺と呼ばれた。このことから当山の名がついたと言われる。標高は 1874m ありますが、中腹まで車で行くことができるので、ハイキングコースとしては軽めの印象が残ります。もうひとつの魅力は自然の豊かさ。シオジ、モミ、ツガ、ダケカンバ、ウリハダカエデ、ヤマオダマキにナガバノモミジイチゴ。他にも数えきれないほどの植物が、光の射す森の中で育っています。その中でもミツバツツジは見事。登山道の途中では水の流れる場所があり、コップも置いてあります。気持ちがりフレッシュするおいしいお水です。

猿橋は「岩国の錦帯橋」「木曽の棧(かけはし)」と並ぶ日本三奇橋のひとつで、広重の「甲陽猿橋之図」や十返舎一九の「諸国道中金之草鞋」などにその珍しい構造が描かれています。長さ 30.9m、幅 3.3m、高さ 31m のその姿は、橋脚を全く使わない特殊なもので、鋭くそびえたつ兩岸から張り出した四層のはねぎによって支えられています。